外国人住民のための防災訓練を三豊市で開催しました!!

実施日:平成28年1月31日(日) 於:三豊市危機管理センター

主催:香川県・(公財)三豊市国際交流協会、協力:三豊市・三豊市防災士会・三豊警察署・三観広域行政組合北消防署

外国人住民のための 防災訓練

参加者:3か国(中国・ベトナム・カンボジア) 31名

○三豊の災害を知ろう







どんな災害がおこるのかな? 地図で避難所の場所を確認!

○避難所を体験しよう①

(起震車での地震体験、ダンボールパーテーション設置、 担架づくり、AED操作、応急処置、非常食試食など)







震度7の地震を体験!

東日本大震災紹介パネル

毛布で担架を作ろう

した。

三豊市で災害が発生し、外国人住民が避難所に避難しているという設定のもと、参加者全員で行いました。

○避難所を体験しよう②

●共通訓練≪避難所巡回訓練≫●

【外国人参加者の役割】避難所に避難している外国人被災者 役。多言語支援チームの巡回時に、それぞれの国の言葉で質 問したり、相談したりします。



-生懸命、私たち 外国人のために 準備してくれた んだな



身振り手振りで 伝えてみよう

多言語情報伝達訓練

○防災の日本語講座

災害が起きたときに、命を守るための正 しい行動がとれるよう、気象警報・注意 報や、携帯の緊急速報メールを題材とし て、漢字や語彙を学ぶ日本語講座を実施 しました。



ゲーム感覚で練習~

参加者アンケートより

- ・今日初めて地震を体験しました。とても怖かったです。今回の経験 があるので、本当の地震がきてもあまり緊張しなくて済むと思いま す。(中国)
- ・今日勉強した知識を、人に伝えたいと思いました。(中国)
- ・このようなイベントをしてくれたのは、外国人の命も大切に思ってく れているからだと思います。心から感謝しています。(中国)
- ・たくさん難しい漢字を勉強しましたが、とても面白かったです。(ベ トナム)
- ・たくさんのことを勉強しました。地震が起きたらど こに逃げたらよいか分かりました。(ベトナム)
- ・こんな訓練に参加したのは初めてです。とても嬉 しかったし良かったです。(カンボジア)
- ・今回の体験と交流が大好きです。(中国)
- …非常食はどの国の方にも好評でした♪

○避難所巡回訓練

災害時における

ら、お話をうかがいました。

(行政・団体職員、地域日本語指導

ボランティア・通訳等ボランティア)

(特活)多文化共生マネージャー全国協議

会理事の柴垣さん、事務局長の時さんか

○多言語支援センター設置運営訓練

災害本部から出された情報の中から、被災者にとって必要と思

われるものに優先順位をつけて、多言語での翻訳にあたりまし

た。また、地図を見ながら避難所までの経路を確認したりしま

○講演「多言語支援センターの役割について」

参加者:30名

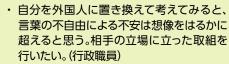
【支援者の役割】外国人被災者が避難している避難所を巡回 し、必要な情報を多言語で提供したり、外国人被災者が抱え る問題のへ対応を行ったりします。

○避難所巡回訓練振り返り

それぞれのグループで、活動の感想や反省点などを話し合い ました。外国人被災者からの質問の意図を理解した上で、正 確な情報を様々な言語や手法で伝え、少しでも安心を届けら れるようにするためには何が必要か、みんなで考える時間と なりました。また、記録をもとに、次に活動するボランティア への申し送りの練習も行いました。

参加者アンケートより

- こういう訓練を通してネットワークを築いていければ、香川県とい う地域の対応力がアップしていくと思いました。(行政職員)
- 支援する側からの思いだけではなく、受ける側の思いも感じながら の支援が必要だということを実感しました。(行政職員)
- 想像以上の様々な質問が出てきて、自分の無知さを感じた。 日頃から情報を収集していきたい。(ボランティア)



日本人にとっての当たり前は当たり前では ないことを実感しました。(団体職員)



今年度も県内のどこかで訓練を実施したいと考えています。関心をお持ちの方は、災害時外国人支援担当までお問い合わせください。